

2009年 5月22日

南砺市長

田中 幹夫 殿

物価上昇に見合う年金引き上げを求める要請書

全日本年金者組合南砺支部

支部長 三宅 秀正



南砺市山見1, 488-7

日頃から住民のくらしと福祉の増進に、日夜ご尽力されていることに心から敬意を表します。

さて、米国発の金融危機が世界に広がり、日本の景気悪化がいよいよ深刻になっています。私たち年金者、高齢者の日々の生活に大きな影響があり、政府統計でも、年金だけで生活する高齢者世帯の半分以上が年収200万円未満で生計をやりくりしています。また、3分の1が年収150万円以下で生活保護基準を下回る状況で、このままでは生活の危機です。

私たち年金者組合は少なくとも、昨今の生活必需品を中心とした物価の高騰以前の生活水準を維持するために、すべての公的年金について、下記のと通りの引き上げを求めます。また、低額年金者への当面の措置を行なうことで、冷え込んだ国内、地域経済の向上と景気回復、内需拡大に資するものと確信します。

私たちの要求について暖かいご理解、ご支援を賜り関係機関に要請するなど、お力添えくださるようお願いいたします。

記

1. 年金額を3%早急に引き上げることを求めます。 (全日本年金者組合南砺支部)
重要事項
2. 年金月額8万円に満たない無年金・低額年金者に8万円に達する額を上乘せ
して支給してください。 (月48,000円以下)
-
3. 年金不安解消に、掛け金なし、消費税によらない、月額8万円の最低保障年
金制度を検討してください。 (新しい要請項目、2005年全日本年金者組合)
(取上げ同へ要望 経過より)
以上

